

acaia



**Acaia Orbit**  
**ユーザーマニュアル**

**AOT007 / AOT008 / AOT009**  
**/ AOT010 / AOT011 / AOT012**

# 目次

3	<b>イントロダクション</b>
4	<b>安全にお使いいただくために</b>
5	<b>部品構成</b>
6	<b>パッケージ内容</b>
7	<b>Orbit のセットアップ</b>
8	<b>Orbit 概要</b>
9	<b>基本情報</b>
9	Orbitのグラインドについて
9	グラインドの開始 / 停止
9	グラインドスピードの調整
9	ホットスタート / コールドスタート
9	ノッカー
10	刃のゼロ ポイント
10	刃のタッチ ポイント
10	ディテントリング
10	ステップレス調整
10	自動ストップ
11	自動パージ
11	逆回転調整
12	ストール(刃が噛んでしまうこと)防止
13	<b>Orbit アプリでの高度なコントロール</b>
13	アプリ概要
14	アプリとOrbit が接続されている場合
14	アプリとOrbit と Lunar が接続されている場合
15	RPM プロファイル概要
16	時間ベースのグラインド
17	マニュアルグラインド
18	詳細設定メニュー
20	<b>Acaia Lunar での計り挽き</b>
21	<b>Acaia Lunar を使用した計り挽きの手順</b>
25	<b>製品の手入れ情報</b>
26	<b>付録</b>
28	<b>仕様</b>

# イントロダクション

---

新しいAcaia Orbitへようこそ。

Orbitは、最新のAcaiaテクノロジーを活用して作られた64mmフラット刃グラインダーです。ご家庭や小規模店舗に最適で、様々な機能を備えています。ワークフローを最適化し、これまでにないコーヒーグランドを体験できます。

挽き目調整ダイヤルはスムーズなステップレスです。オートパージとノッカーにより、シングルドース時の挽き残りを最小限に抑えます。

専用のOrbitアプリにより、Orbitをコントロールできます。ボタンの動作をカスタマイズしたり、RPMプロファイリングを試したりとアプリでRPMをマニュアルコントロールできます。

Acaia Senseテクノロジーを使用して、いつでも正確な量を挽くことができます。OrbitはLunarと接続し、かつてないほど正確に計り挽きができるグラインダーです。

Orbitを通じて、新しいコーヒーグランドをお楽しみ下さい。

# 安全にお使いいただくために

---

**Orbitを使用する前に、以下を注意深くお読みください。本製品をご使用するにあたり大切な安全のための情報が含まれております。製品の誤った取扱いはケガや身体的な損傷を引き起こすことがあります。安全にご使用いただくために必ず守るようにして下さい。**

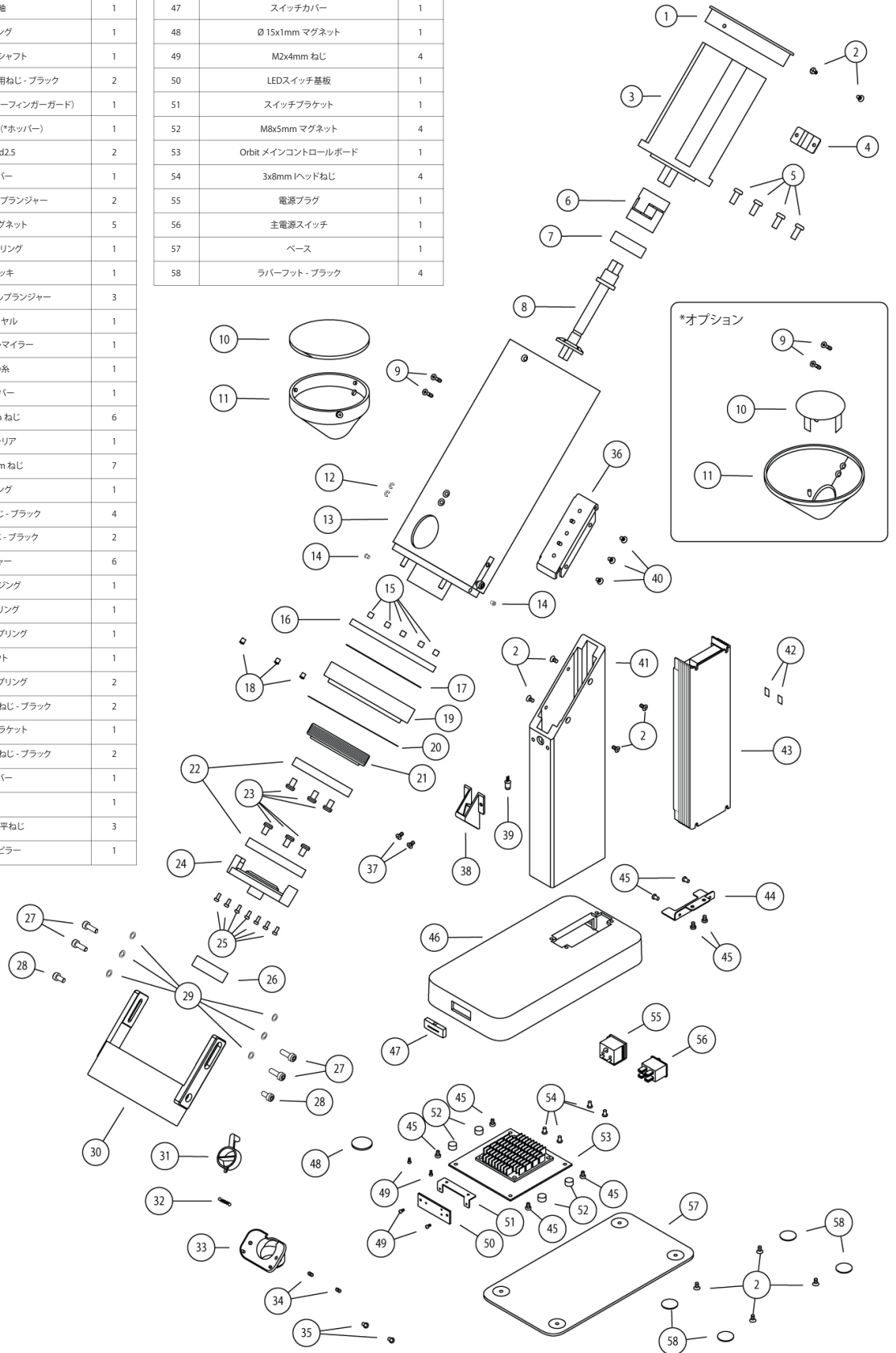
- ！ グラインダーの清掃、及びメンテナンスを行う前に、電源を抜き、少なくとも5分間待ってください。
- ！ 製品仕様内の電圧を持つAC電源のみを使用してください。
- ！ グラインダーを液体に浸さないでください。
- ！ 指や他の物体をOrbitスパウト内に入れしないでください。
- ！ スパウトを正しく取り付けてからOrbitを作動させて下さい。
- ！ ホッパーを正しく取り付けてからOrbitを作動させて下さい。
- ！ Orbitは焙煎されたコーヒー豆のみを挽くために設計されています。
- ！ EU向け:この器具は、8歳以上の子供や、物理的、感覚的、精神的な能力に制約のある人、または経験と知識に欠ける人が、安全な方法で器具を使用するための指示を受けているか、または監督下にある場合にのみ使用できます。
- ！ EU向け:子供は器具で遊んではいけません。清掃やユーザーメンテナンスは、監督なしで子供が行ってははいけません。
- ！ EU以外の場合:物理的、感覚的、精神的な能力に制約のある使用者、または知識と経験に欠ける使用者(子供を含む)は、適切な監督下にあるかまたはまたは指示を受けていない限り、本製品を使用してはいけません。
- ！ アクセサリーの使用も指示に含まれます。
- ！ この器具は家庭や類似の環境で使用することを意図しています。以下のような場所で使用することができます:

店舗、オフィス、その他の仕事場のバックヤードエリア;農家;ホテル、モーテル、その他の住居タイプの環境、ベッドアンドブレイクファーストタイプの環境

# 部品構成

番号	説明	数量
1	モーターハウジングカバー	1
2	M3x8mm 自己たたきねじ - ブラック	10
3	モーター	1
4	ケーブルブラケット	1
5	M5x12mm ねじ	4
6	接続軸	1
7	ベアリング	1
8	ベアリングシャフト	1
9	M3x12mm Eリング用ねじ - ブラック	2
10	ホッパーカバー (*ホッパーフィンガーガード)	1
11	多目的ホッパー (*ホッパー)	1
12	Eリング d2.5	2
13	チャンバー	1
14	D3x4mm ボールプランジャー	2
15	5x5mm マグネット	5
16	ディテントリング	1
17	SECCメッキ	1
18	D4x6.5mm ボールプランジャー	3
19	調整ダイヤル	1
20	調整ダイヤルマイラー	1
21	バーの糸	1
22	64mm バー	1
23	M5x8mm ねじ	6
24	バーキャリア	1
25	M2.5x6mm ねじ	7
26	ベアリング	1
27	M4x12mm ねじ - ブラック	4
28	M4x8mm ねじ - ブラック	2
29	ワッシャー	6
30	バーハウジング	1
31	ノッカーリング	1
32	ノッカースプリング	1
33	スパウト	1
34	スパウトスプリング	2
35	M3x8mm Iヘッドねじ - ブラック	2
36	サポートブラケット	1
37	M3x5mm Iヘッドねじ - ブラック	2
38	LEDカバー	1
39	LED	1
40	M3x8mm 平ねじ	3
41	サポートピラー	1

番号	説明	数量
42	パフスポンジ	2
43	電源供給	1
44	電源ブラケット	1
45	M3x5mm Iヘッドねじ	8
46	ベースシャーシ	1
47	スイッチカバー	1
48	Ø 15x1mm マグネット	1
49	M2x4mm ねじ	4
50	LEDスイッチ基板	1
51	スイッチブラケット	1
52	M8x5mm マグネット	4
53	Orbit メインコントロールボード	1
54	3x8mm Iヘッドねじ	4
55	電源プラグ	1
56	主電源スイッチ	1
57	ベース	1
58	ラバーフット - ブラック	4



# パッケージ内容

---



**Orbit**  
コーヒーグラインダー



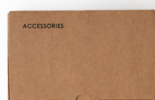
**電源ケーブル**



**58 mmポルタフィルター**  
ドosingカップ  
(磁気パッド付き)



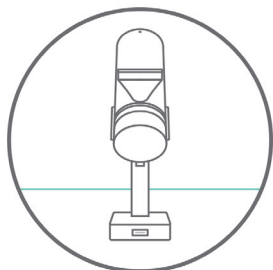
**Lunarマグネットストリップ**  
ガイド



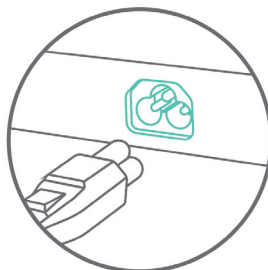
**アクセサリツールキット**

スパウトエクステンダー x1  
六角レンチ x1  
Lunar用マグネットストリップ x4  
バーキャリア用ネジ x6  
スパウトネジ x2  
タッチポイント用シール x5  
ノッカー用スプリング x2  
m4x12mm ネジ x4  
m2.5x6mm ネジ x4  
ワッシャー x4

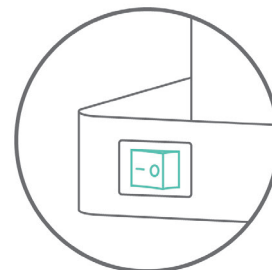
# Orbitのセットアップ



Orbitを平らで安定した表面に置きます。



100V~240V AC電源に差し込みます。



背面の主電源スイッチを入れます。



スパウトエクステンダー(オプション)

\*注意:計り挽きモードでLunarを接続する場合は、スパウトエクステンダーを取り外すことをお勧めします。



58 mmドージングカップをOrbitのベースに置きます。



前面のOrbitボタンをクリックします。ボタンのライトが点灯したら、準備完了です。

## 注意:

- Acaia は品質管理プロセス中にコーヒー豆を使用してすべてのユニットをテストします。グラインダーやパッケージには少量の挽いたコーヒー粉が残ることがあります。
- ダイヤルは刃のタッチポイントを超えて設定しないでください。

# Orbit 概要

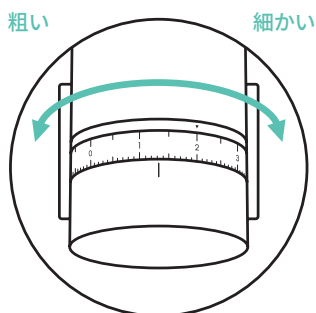
- クリック
- ダブルクリック
- トリプルクリック
- 長押し

ホッパー



\*オプション

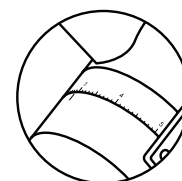
挽き目調節ダイヤル  
参照マーク



ディテントリング

- ● ● ▼

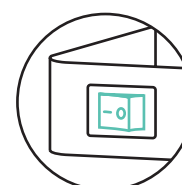
ディテントリングはお好みでご使用下さい。



※モデルAOT007 / AOT008 / AOT009 / AOT010には付属でワイドアジャストリングが付いています。

スポットライト

ノッカー



主電源スイッチ

Orbitのボタン操作

- 電源オン
- 開始/停止/一時停止\*
- パルス
- パージ
- プリセット切り替え(2秒)
- スタンバイ(10秒)

\*Orbit は使用されていない場合には自動的にスタンバイモードになります。

ライトインジケータ

- |            |      |                    |
|------------|------|--------------------|
| — (White)  | ホワイト | プリセット A (600 RPM)  |
| — (Blue)   | ブルー  | プリセット B (1000 RPM) |
| — (Cyan)   | シアン  | プリセットC (1500 RPM)  |
| — (Purple) | マゼンタ | マニュアルモード           |
| — (Red)    | レッド  | 警告 / ファームウェアアップデート |
| — (Green)  | グリーン | 工場出荷時の設定にリセット      |
| — (Yellow) | イエロー | パージ / クリーニング中      |
| — (Orange) | オレンジ | 接続中                |



# 基本情報

## Orbit のグラインドについて

Orbit は、コーヒーの抽出に合わせたユニークな機能を備えています。グラインダーは、自動クリーニングパージ機能など、シングルドースに対応する機能を実装して、グラインド時の粉残りを減少させるのに役立ちます。また、最新の Acaia Lunar とペアリングして Orbit の計り挽き機能でより心地の良い計量体験を楽しむこともできます。




モータードライバーから専用アプリまで Acaia の独自の技術で設計された Orbit は、RPM の高度な制御と省エネを提供します。以下の情報を参照して、Orbit の特徴をご覧ください。

## グラインドの開始 / 停止

Orbit ボタンをクリックして、簡単にグラインドセッションを開始 / 停止します。

## グラインドスピードの調整

Orbit ボタンを長押しして、3つのデフォルト RPM プロファイル間を切り替えます。3つのプリセットは、異なる色の光で表されています。RPM プロファイリング機能には、Orbit アプリからアクセスできます。

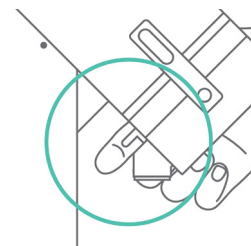
LED インジケーターの色	プリセット名 (アプリ内)	プリセット RPM
ホワイト 	プリセット A	600 RPM
ブルー 	プリセット B	1000 RPM
シアン 	プリセット C	1500 RPM

## ホットスタート / コールドスタート

Orbit に豆を追加してグラインダーを起動した状態 (ホットスタート) または起動する前 (コールドスタート) にグラインドを開始できます。挽いたコーヒーの粒度分布は、グラインドを開始する方法によってわずかに変化することに注意してください。

## ノッカー

ノッカーは、Orbit スパウトのすぐ後ろにあります。ノッカーを2~3回使用してできるだけ粉残りを取り除きます。ノッカーの向きは左利きユーザーまたは右利きユーザー向けに変更できます。ノッカーの向きを変更する方法については、当社のOrbitビデオリストを参照してください。



## 刃のゼロポイント

刃がこれ以上微調整できないポイント。微調整ダイヤルを細かい方に回すと、抵抗を感じて回すことができなくなります。

刃がゼロポイントでグラインダーを起動しないでください。損傷の恐れがあります。挽き目調整ダイヤルの「0」は、刃のゼロポイントとは一致しないことに注意してください。

## 刃のタッチポイント

刃が互いに初めて接触し、金属同士がこすれるような音がするポイント。これが最も細かい挽き目の設定です。刃の調整を行う場合、刃のタッチポイントが変わることがあります。Orbit ユーザーは、刃のタッチポイントよりも細かく挽くことは、刃またはモーターに損傷を与える可能性があるため、慎重に行うことをお勧めします。

## ディテントリング

ディテントリングは挽き目調整リングの上にある可動式のリングです。グラインド設定の基準点として使用できる記号が記されています。

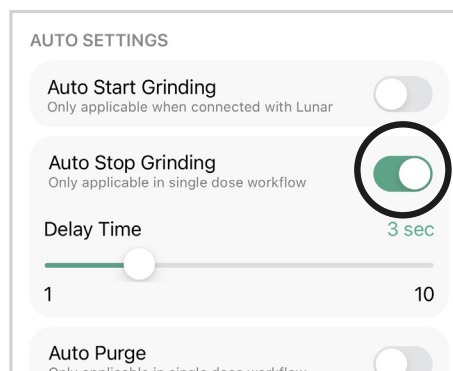
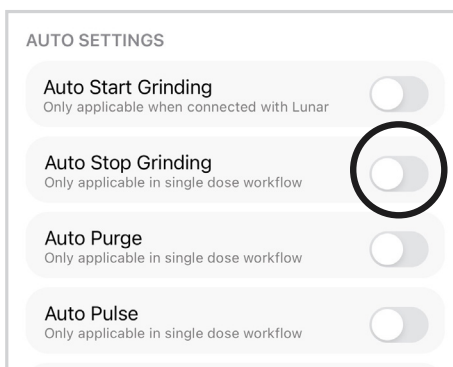
## ステップレス調整

Orbit の設定ダイヤルは、エスプレッソからフィルターコーヒーへのスムーズかつ連続的な調整が可能な0.75 mm のスレッドピッチを備えています。これにより、ショットを細かく調整する余裕が生まれ、少量のハンドドリップから必要に応じて大量のバッチに切り替えることができます。

## 自動ストップ

ビーンチャンバーが空になると3秒後に自動的にグラインドを停止します。また、豆が入っていない状態でOrbitの電源を入れると15秒後に自動的に停止します。

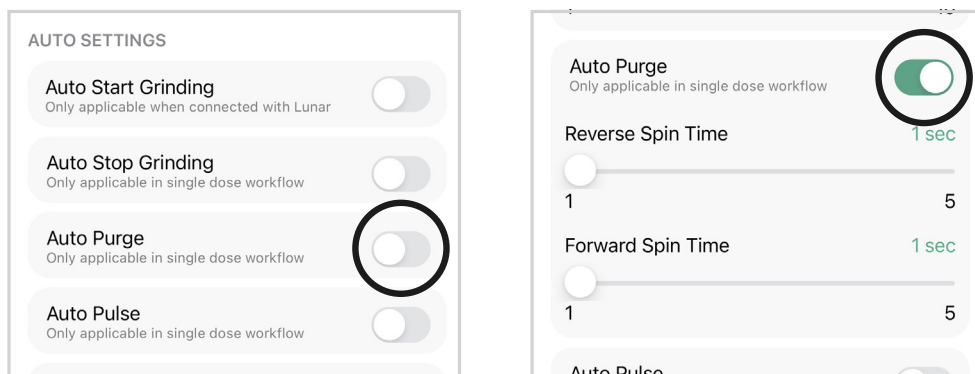
Orbitアプリで自動ストップ設定を調整して連続挽きを行うことができます。自動ストップ設定をオフにすると、グラインダーはOrbitボタンで手動で停止するまで挽き続けます。



## 自動パージ

Orbit は、各グラインドごとに自動的にパージして粉残りを減少させます。パージ中は、Orbit ボタンは黄色に点灯し、高速な逆回転、それから正回転を行います。Orbit ボタンをトリプルクリックして、手動で操作することもできます。

この設定は、Orbit アプリを介してオフにすることができます。オフにした場合、Orbit はグラインドごとにはパージしません。

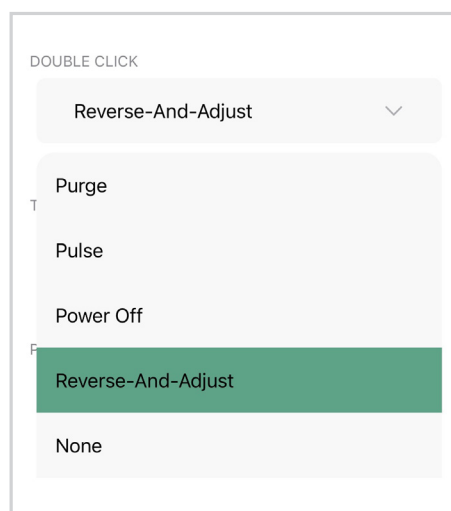


## 逆回転調整

逆回転調整によって、フィルター挽きとエスプレッソ挽きを簡単に切り替えることができます。アプリの“Orbit Button Action”を選択し、ボタン機能の1つを“Reverse-And-Adjust (逆回転調整)”に割り当てます。この機能はOrbitグラインダー独自のものです。アクションボタンをトリプルクリックに設定した場合、刃は連続的に反転し、コーヒー粉を排出します。わずか数秒の反転の後、ダイヤルは細かい挽き目に調整できます。

使い方のアドバイス:

- ダイヤルを調整する前に、パージ機能(トリプルクリック)をお試しください。
- 他のグラインダーと同様、グラインダーを作動させながらダイヤルを調節してください。
- コーヒー豆を数粒入れ、ダイヤルを左右に動かしながら挽きます。この動作は、コーヒーの粉詰まりを解消してくれます。
- トリプルクリックを活用して、刃を低速で逆回転させることで、刃の間にコーヒー粉が詰まっても、ダイヤルを粗挽きから細挽きに調整しやすくします。



## ストール(刃が噛んでしまうこと)防止

グラインド中に Orbit の刃がストールしてグラインドが停止した場合、モーターは自動的に停止します。ボタンは赤く点滅してストールが発生したことをお知らせし、Orbit はモーターを起動してグラインドを再開します。

多くの場合、一時停止と再起動によってグラインドが正常化されます。

5回ストールした後、Orbit はモーターを停止して再起動を試みません。この場合は挽き目を粗く調整して再試行するか、それでも解決しない場合はカスタマーサービスにご連絡ください。

Orbit が非常に硬い豆や石などの異物を認識するとシステムの過負荷を防ぐために警告なしに自動的にシャットダウンする場合があります。この問題が発生した場合は、当社のクリーニング手順に従って豆や異物を取り除いてください。

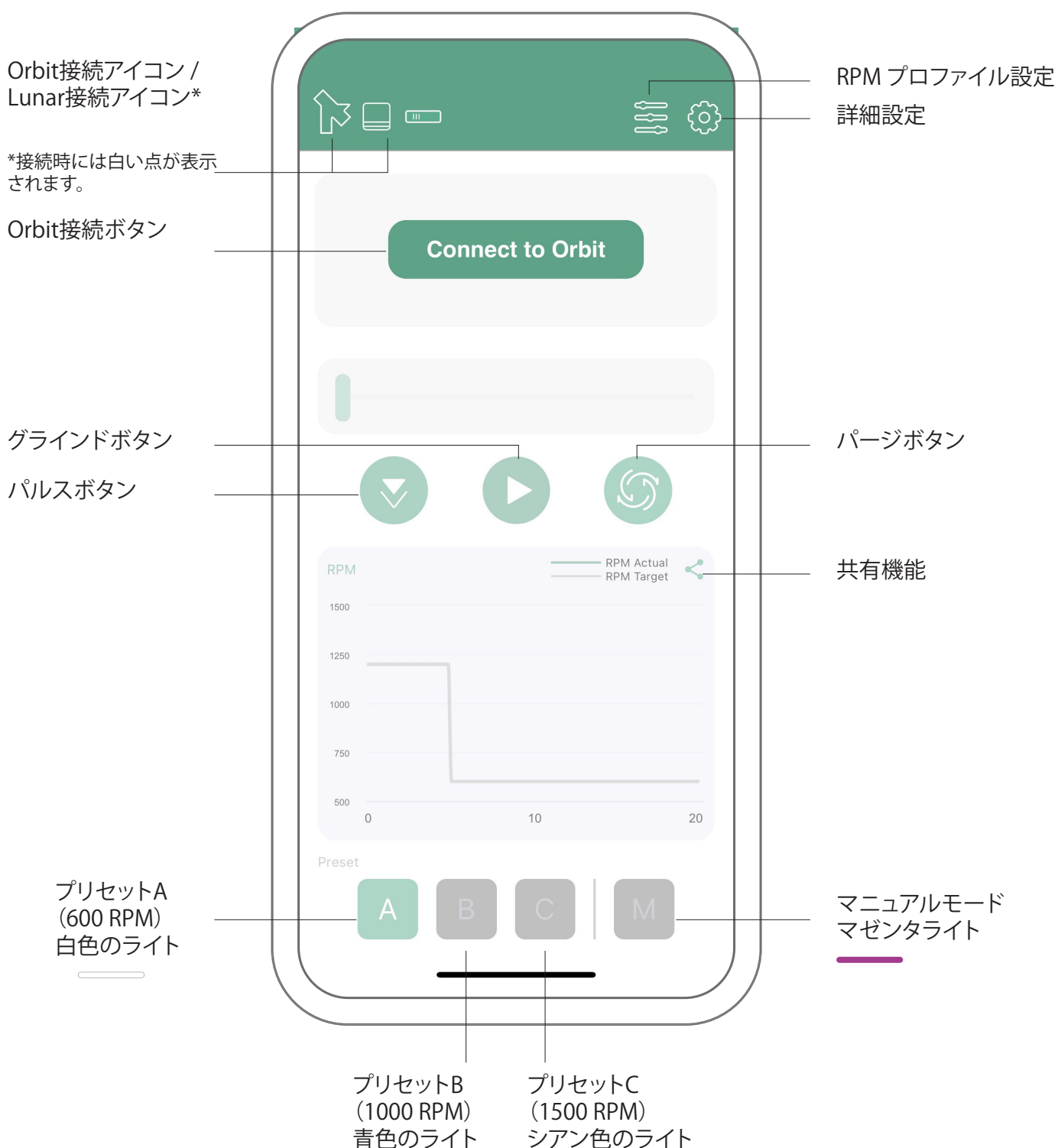
### 注意:

- シングル挽きのワークフローはAcaia公式YouTubeチャンネルのOrbitビデオリストでご覧いただけます。
- 自動停止機能とオートパージ機能は工場出荷時に両方ともONになっています。自動パージシーケンスは自動停止機能がオンの場合にのみ開始されます。
- Orbitは焙煎したコーヒー豆を挽くためだけに使用してください。他の食品や物体を挽こうとするとグラインダーの破損や故障の原因となります。

# Orbitアプリによる高度なコントロール

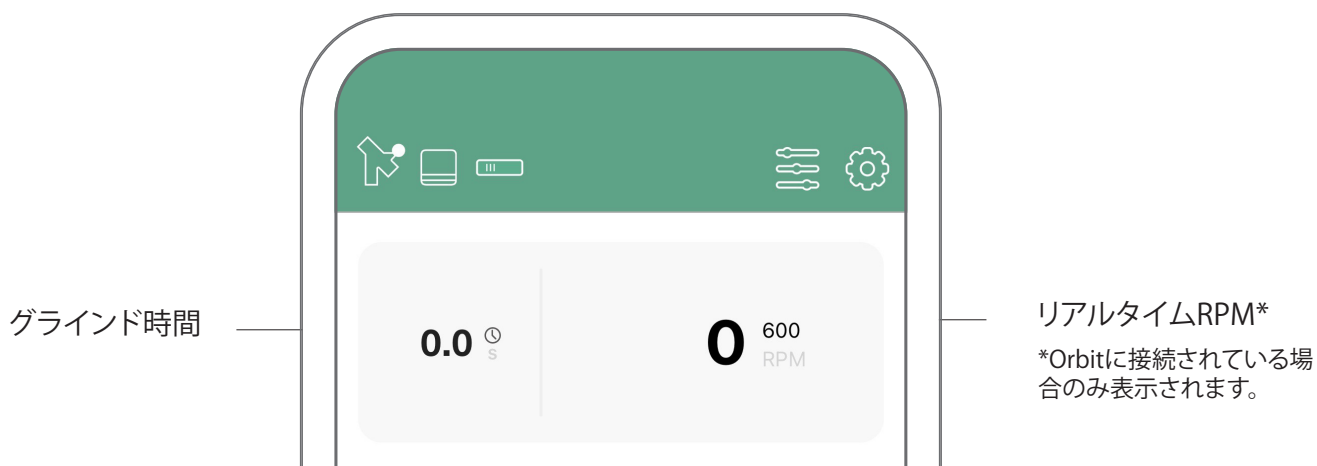
Orbit専用アプリによりさらにOrbitを高度にコントロールできます。  
ボタンの動作、RPMプロファイル、その他の設定を完全にカスタマイズできます。

## アプリの概要



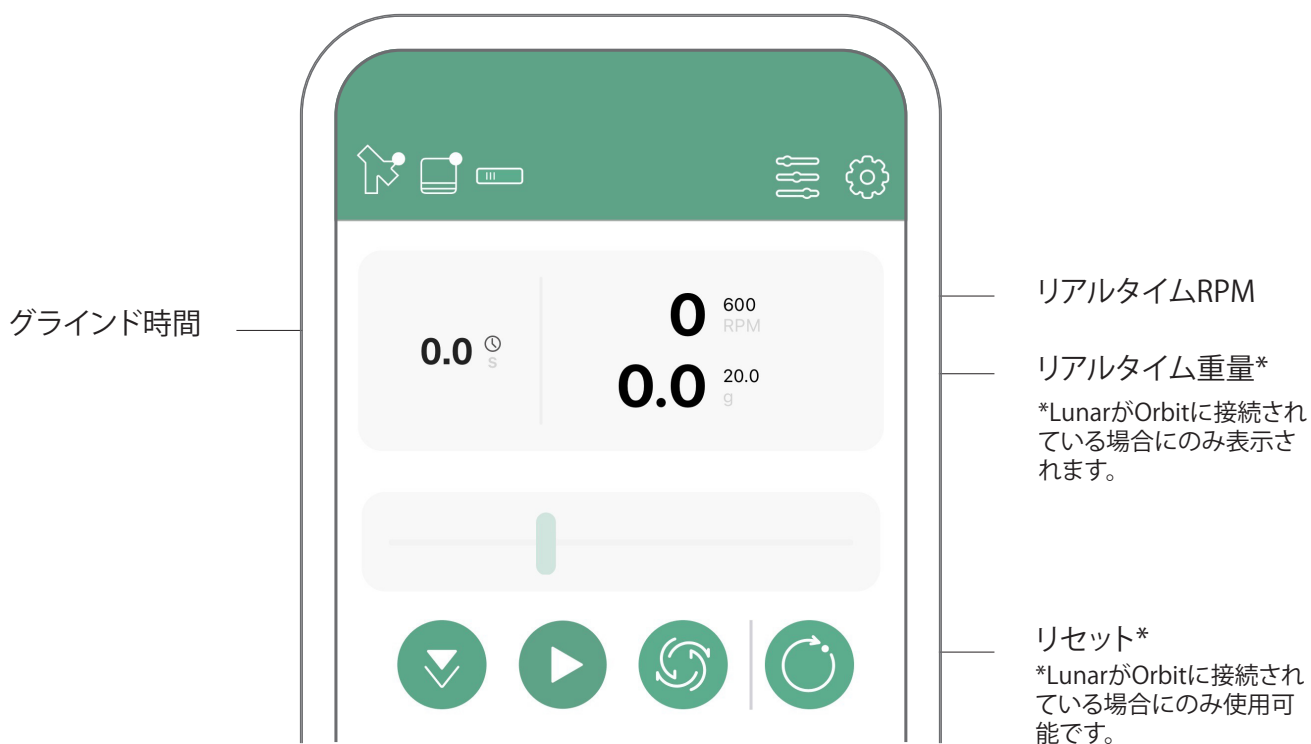
## アプリがOrbitと接続されている場合

左上のOrbitアイコンに白い点が表示されます。



## アプリがOrbit及びLunarと接続されている場合

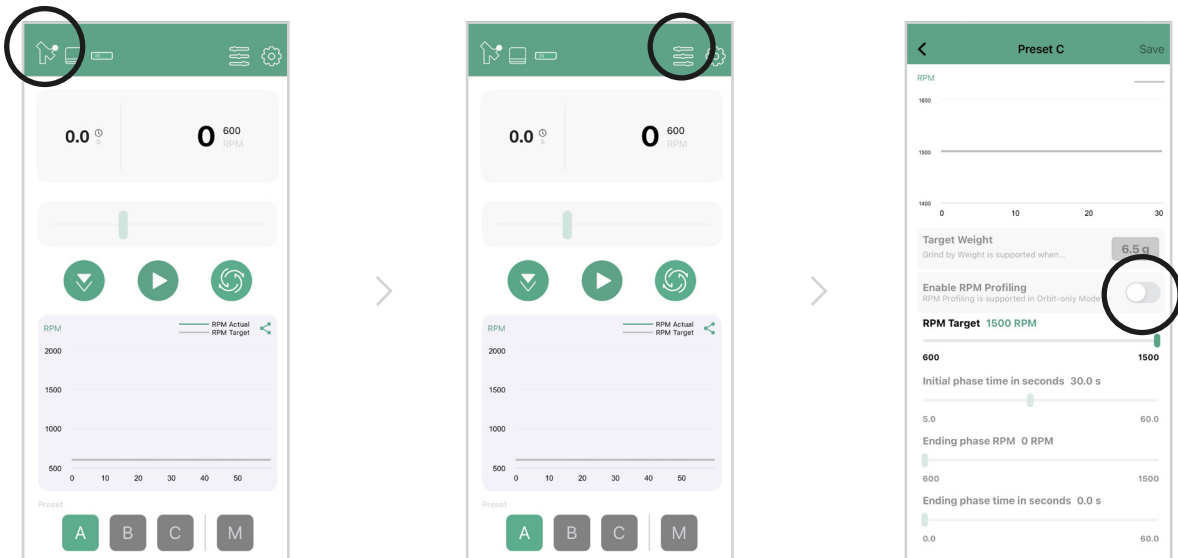
左上のOrbitとLunarのアイコンに白い点が表示されます。



## RPMプロファイルの概要

Orbitは、Acaia初の画期的なRPMプロファイリングを搭載しています。グラインダーの回転数を変化させることにより、新たな粒度分布が得られます。コーヒーを挽く際、刃の回転速度 (RPM) は挽き上がりの均一性に影響を与えます。Orbitを使用して、自分自身のRPMプロファイルを設計し、回転数の変化が均一性や風味にどのような影響を与えるかを試すことができます。

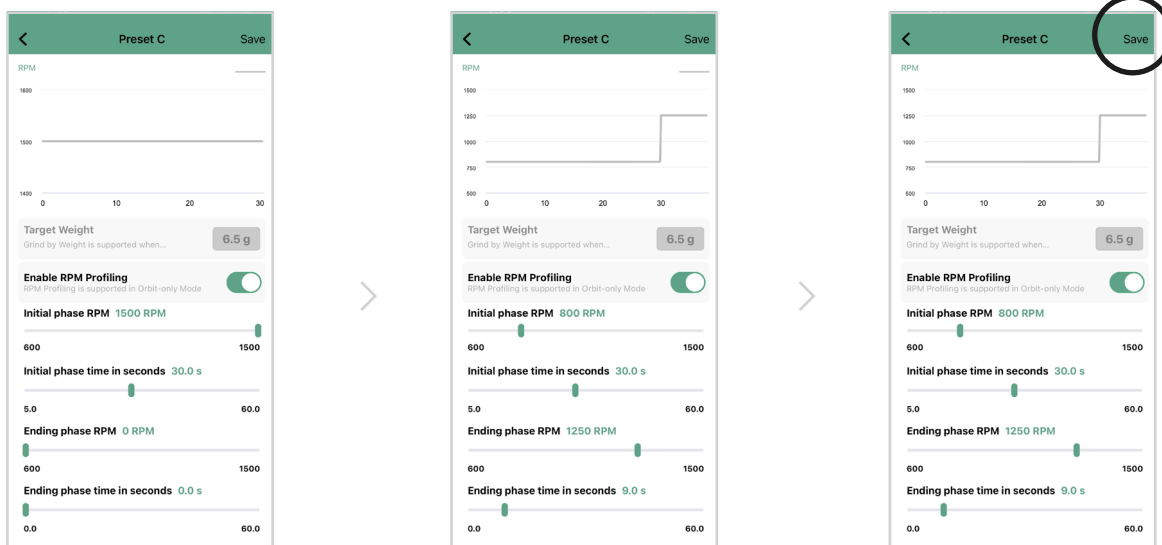
RPMプロファイリング機能にアクセスするには、まずOrbitアプリをOrbitグラインダーに接続します。各プロファイル (A、B、C) ごとに、2段階のRPMプロファイルを設定できます。各段階は600～1500 RPMの間で設定でき、実行時間を設定するタイマーも含まれています。RPMプロファイリングは、OrbitがOrbit専用アプリに接続されている場合のみ利用可能です。アプリからの変更された設定はOrbitに保存されます。



1 この設定を調整するには、アプリとOrbitを接続して下さい。

2 接続されていることを確認し、プリセットA、B、Cのいずれかを選択します。RPMプロファイル設定に入ります。

3 RPMプロファイリングオプションを有効にします。Orbitに接続されていない場合はこのオプションを使用できません。



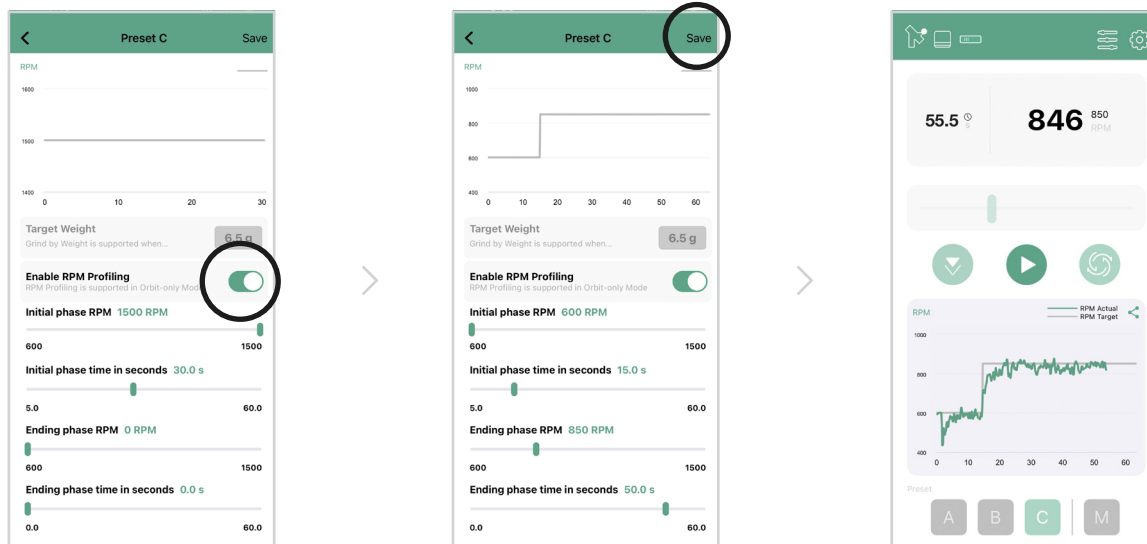
4 RPMプロファイリングが有効になると、調整可能なオプションが有効になります。

5 RPMプロファイル設定を必要に応じて調整できます。

6 右上の[Save]をタップして、変更した設定をOrbitに保存します。

## 時間ベースのグラインド

OrbitにはOrbitアプリを通じてのみアクセス可能な時間ベースのグラインド機能があります。各グラインドセッションごとにグラインド時間を設定できます。目標の時間に達するとグラインダーは自動的に停止します。



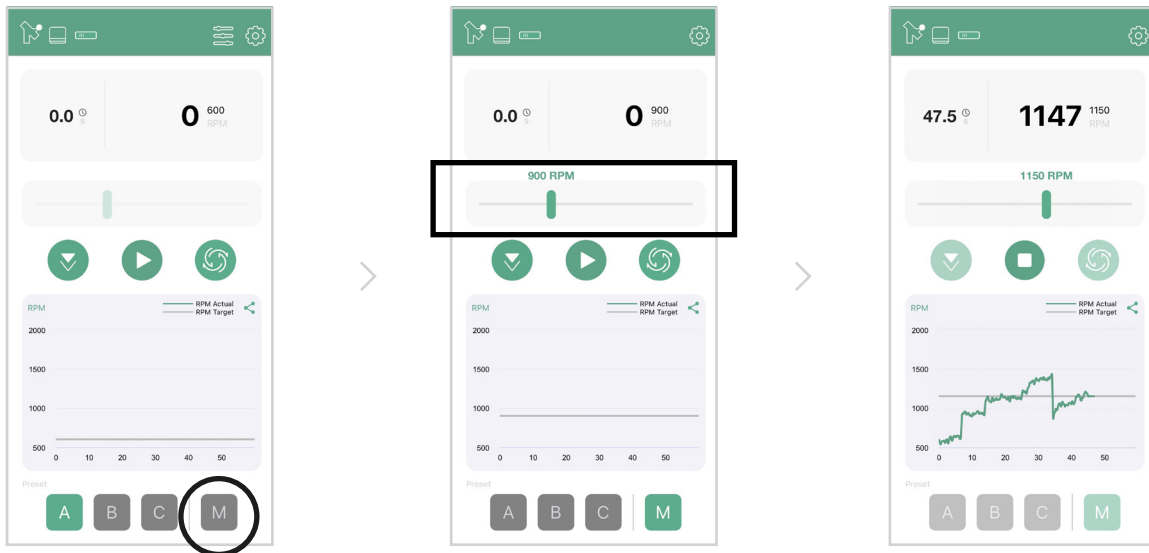
- 1 RPMプロファイリングが有効な場合、「initial phase (前半)」と「ending phase (後半)」の時間を設定し、グラインドセッション時間を調整します。
- 2 右上の[Save]をタップして設定を保存します。
- 3 設定が保存されると、Orbitは終了時間に達した時点でグラインドを停止します。



## マニュアルグラインド

Orbitのマニュアルグラインドモードでは、リアルタイムでRPMを自由に制御できます。グラインドセッション中に、Orbitアプリ内のRPMスライダーをスライドするだけで、グラインダーの速度を変更できます。アプリのメインページのグラフにリアルタイムのRPMが表示されます。

Orbitはマニュアルモードの場合、マゼンタ色のライトを表示します。RPMプロファイリングはマニュアルモードでは有効になっていないことに注意してください。



**1** OrbitをOrbitアプリに接続して「プリセットM(マニュアルモード)」を選択します。

**2** マニュアルモードに切り替えると、RPMスライダーがアクティブになります。

**3** スライダーでグラインダーの回転数を調整します。リアルタイムの回転数は下のグラフのグリーンで表示され、目標回転数はグレーの線で表示されます。

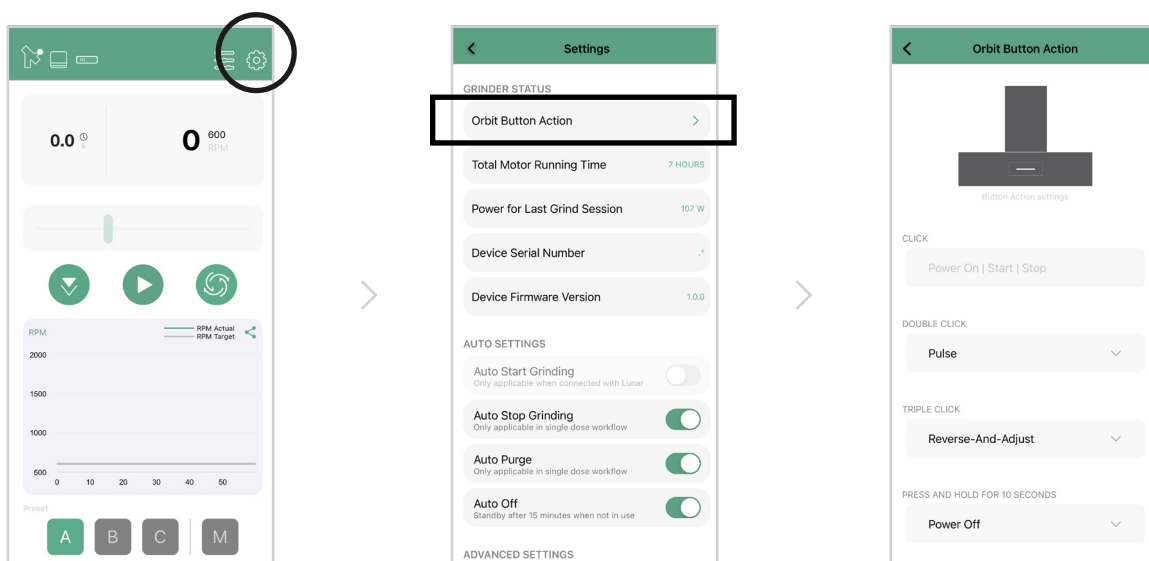
## 詳細設定メニュー

Orbitアプリのメインページの右上にある詳細設定アイコンをタップして、Orbitアプリの詳細設定に入ります。全体の設定は以下の通りです：

### Orbitの各ボタン動作

アプリからOrbitのボタンアクションをカスタマイズすることで、独自のワークフローを設計することもできます。カスタマイズ可能なボタンアクションは3つあります：ダブルクリック、トリプルクリック、10秒間長押し。カスタマイズ可能なオプションはパルス、パーズ、電源オフ、および刃の逆回転設定です。

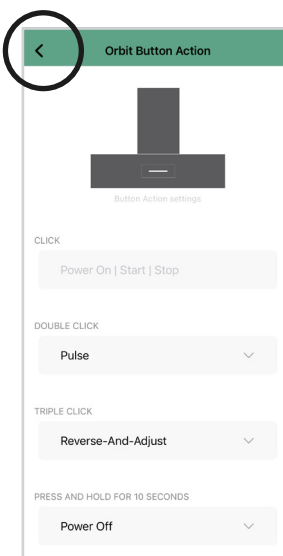
なお、「クリック」アクションは電源のオン、スタート、およびストップに設定されています。このアクションはカスタマイズできません。



1 OrbitをOrbitアプリに接続します。右上のアイコンをタップして詳細設定メニューに入ります。

2 詳細設定ページの上部で「Orbit Button Action」をタップします。

3 アクションボタンは、パーズ、パルス、逆回転調整、またはアクション無しに設定できます。



4 < をタップして設定ページを終了し、変更を保存します。

## 逆回転調整

フィルター挽きとエスプレッソ挽きの挽き目調整を簡単に切り替えられる「逆回転調整機能」をご活用ください。詳しい使い方は11ページをご覧ください。

## グラインド自動スタート

1. デフォルト設定はOFFです。
2. オンにすると自動スタートが有効です。Lunarに5グラム以上のカップまたは容器が置かれると、Orbitは自動的にグラインドを開始します。
3. オフにすると自動スタートが無効です。グラインドを開始するにはOrbitボタンをクリックして下さい。
4. 自動スタートははかりモードでのみサポートされています。

## グラインド自動ストップ

1. デフォルト設定はONです。
2. オンにすると自動ストップが有効です。グラインドセッションが終了してから3秒後、または開始されてから約15-17秒後にコーヒー豆が検出されない場合、グラインダーは自動的に停止します。
3. オフにすると自動ストップが無効です。自動パージも無効になります。
4. 自動ストップはシングルドースグラインドでのみサポートされています。

## 自動パージ

1. デフォルト設定はONです。自動パージ設定は、自動ストップ設定がONの場合にのみ有効です。
2. オンにすると自動パージが有効です。
3. オフにすると自動パージが無効です。
4. 自動パージはシングルドースグラインドでのみサポートされています。

## 自動電源オフ

1. デフォルト設定はONです。
2. オンにすると自動電源オフが有効です。Orbitは15分後に自動でスタンバイモードに入ります。
3. オフにすると自動電源オフが無効です。

## Acaia Lunarとのペアリング解除

[Clear]ボタンをタップしてペアリングされたLunarを解除します。Orbitは1つのLunarとのみペアリングできます。別のLunarとペアリングする場合は、アプリ内でペアリングをリセットするか、Orbitを工場出荷時のデフォルトにリセットしてください。

## デフォルトにリセット

[Reset]ボタンをタップしてOrbitを工場出荷時のデフォルトにリセットします。RPMプロファイル、ボタンアクション、ペアリングなど、すべての設定が工場出荷時のデフォルトにリセットされます。

## Acaiaスケール接続の有効化/無効化

1. デフォルト設定はONです。
2. オンにするとLunarへの接続が有効です。Lunarをグラインダーに置くと、Lunarは自動的にOrbitにペアリング/接続されます。
3. オフにするとLunarへの接続が無効です。Lunarをグラインダーに置いて、Lunarは自動的にOrbitにペアリング/接続されません。

# Acaia Lunarと接続した計り挽き

---

## モード紹介

OrbitにはAcaia Lunarと接続した重量によるグラインドモードが搭載されています。重量によるグラインドモードでは、目標重量と好きなRPMを設定できます。目標重量に達すると、グライダーは自動的に停止します。

## Acaia Sense テクノロジー

目標重量に達すると、Orbitは自動でモーターを停止し、グラインドセッションを完了します。内蔵されているAcaia Senseテクノロジーにより目標重量までの微調整が自動で行われ、グラインド量は最も高い精度と再現性が実現されます。

## OrbitとAcaia Lunarを接続

OrbitをLunarに接続して重量によるグラインドモードを有効にできます。Lunarが接続されているとOrbitは重さに基づいた3つのカスタマイズ可能なプリセットをサポートします。また、ハンズフリーで操作できる自動スタート機能も備えています。LunarとOrbitのペアリング方法については、次のセクションの説明をご覧ください。

## ハンズフリー操作のための自動グラインド

Orbitには、自動スタート機能が搭載されています。自動スタートと自動ストップの両方を有効にすれば、ペアリングされたAcaia Lunarにカップを置くだけで簡単に挽くことができます。Lunarに5グラム以上の重さがあるカップを置くとOrbitはグラインドを開始して目標重量に達すると自動的に停止します。

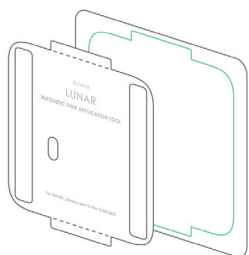
自動スタート設定は、OrbitアプリまたはペアリングされたAcaia Lunarから設定することができます。

- Orbitアプリを開くか、またはペアリングされたLunarを使用します。
- Lunarを使用する場合は、ペアリング済みのLunarがOrbitに接続されていることを確認して下さい。
- マニュアルモードに切り替えると、Orbitボタンがマゼンタ色に変わります。
- Lunarに[Ato On]と表示されるまで、スケールのTボタンを長押しします。
- グラインド自動スタートを有効にするには、希望のRPMに切り替えます。
- グラインド自動スタートを無効にするには、もう一度マニュアルモードに切り替えます。
- Lunarに[Ato OFF]と表示されるまで、スケールのTボタンを長押しします。

# Acaia Lunar による計り挽きの手順

以下の手順に従って、Acaia Lunar との重さによるグラインド機能を設定してください。

## Lunar マグネットストリップの取り付けかた



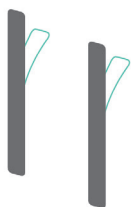
- 1 Lunar マグネットストリップのアプリケーションガイドを点線に沿って取り外します。



- 2 アプリケーションガイドの上部と下部のフラップを点線に沿って折り曲げます。



- 3 Lunar 裏面の隙間に、アプリケーションガイドのフラップを挿入します。



- 4 マグネットストリップの裏紙を剥がします。



- 5 マグネットストリップをアプリケーションガイドのスリットに合わせてLunar に貼り付けます。

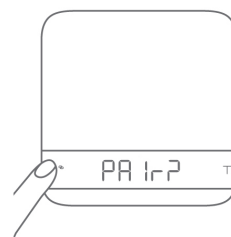


- 6 アプリケーションガイドを取り外します。

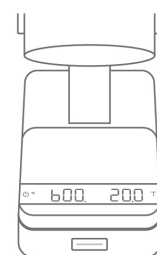
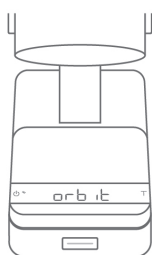
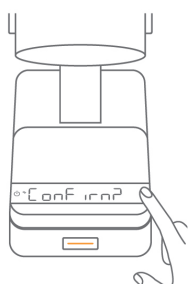
### 注意:

Lunar磁気ストリップは繰り返し貼り付けることはできません。貼り付ける前にLunarの底面をよくきれいにしてから磁気ストリップを貼り付けてください。また、磁気ストリップをしっかりと貼り付けるためには押し付けながら平らにする必要があります。磁気ストリップがしっかりと貼り付けられておらず、ずれてしまうと粘着剤が取れてしまい再利用できなくなります。

## Lunar との初めてのペアリング



- 1 Lunar と Orbit の両方が最新のファームウェアを使用していることを確認してください (Acaia Updater アプリ経由)。
- 2 マグネットストリップが正しく Lunar に貼られていることを確認します。
- 3 Lunar がオフの状態 で、電源 ボタンを 10 秒間押し続けて、画面に 'Pair?' と表示されるまで待ちます。

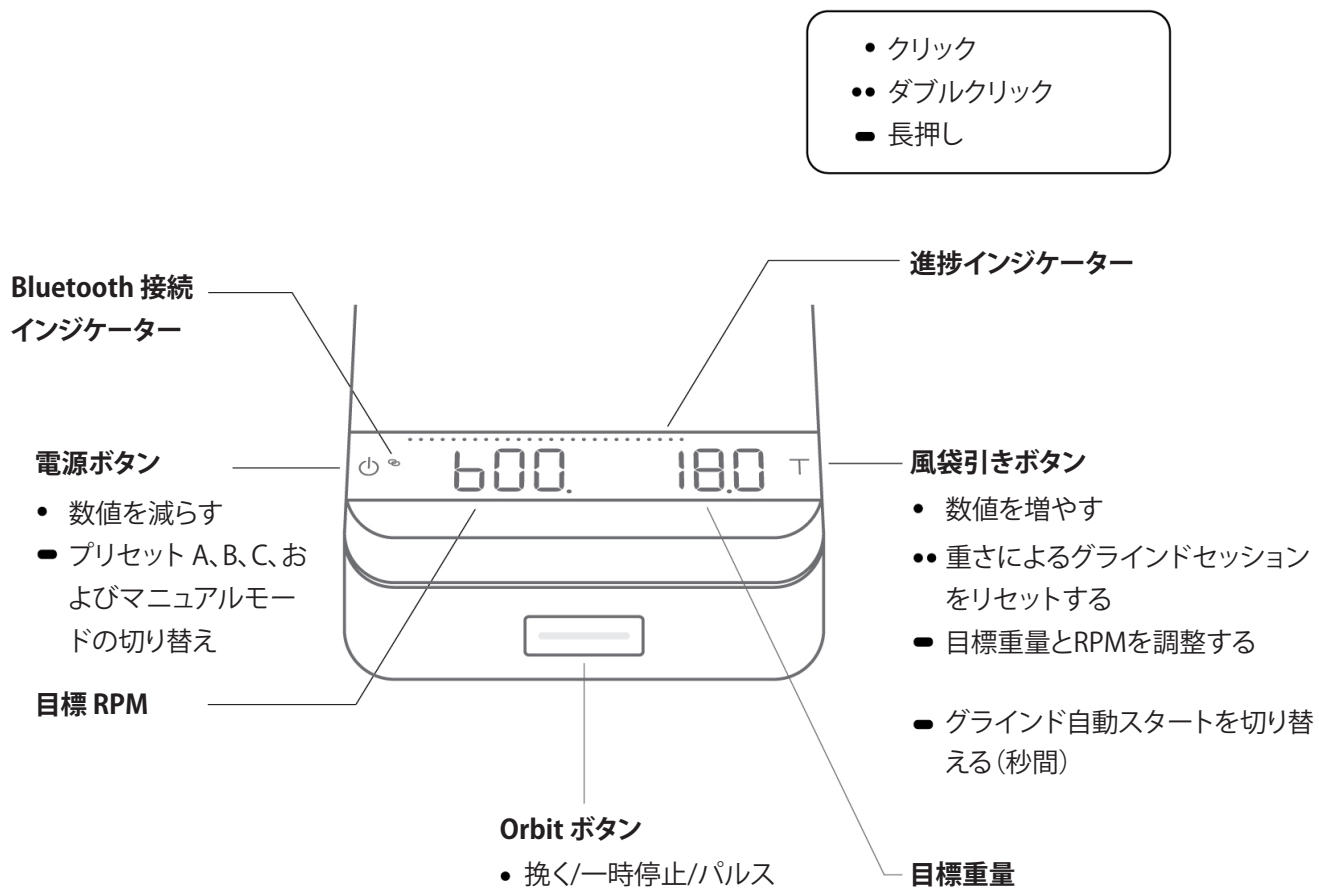


- 4 Lunar を Orbit に置きます。Orbit ボタンがオレンジ色に点灯し、Lunar に 'Confirm?' と表示されるので、Lunar の T ボタンをタップしてペアリングを確認します。
- 5 Lunar に 'Orbit' と表示されると、ペアリングが完了します。
- 6 Lunar は一度だけペアリングする必要があります。次回同じ Lunar を Orbit に置く際には、Lunar は自動で Orbit に接続されます。

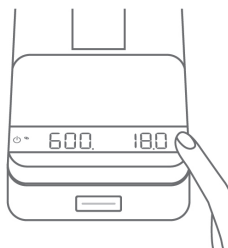
### 注意:

Orbit はペアリングによって Lunar の個体を識別します。そのため、1 つの Lunar としかペアリングできません。別の Lunar とペアリングする場合は、アプリでペアリングをリセットするか、Orbit を工場出荷時設定にリセットしてください。

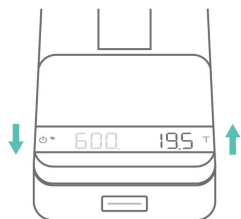
## Acaia Lunarを使用した計り挽き



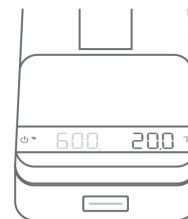
## 重さとRPMの調整方法



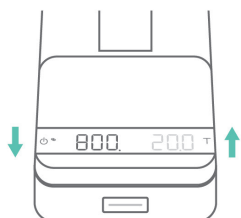
- 1** 目標重量とRPMを調整するには、Tボタンを長押しして重さが点滅し始めるまで待ちます。



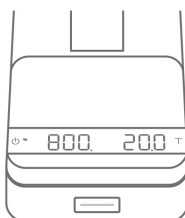
- 2** 重量が点滅し始めたら、増やす場合はTボタンを、減らす場合は電源ボタンをタップします。



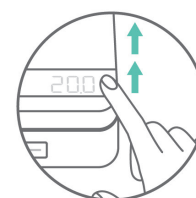
- 3** 目標の重量に到達したら5秒待ち、RPMの調整に移ります。



- 4** RPMが点滅し始めたら、増やす場合はTボタンを、減らす場合は電源ボタンをタップします。



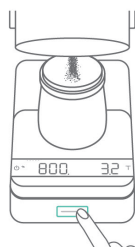
- 5** 目標のRPMに到達したら5秒後に設定は保存されます。



- 6** 数値の増減のスピードをあげるには、Tボタンもしくは電源ボタンを押し続けます。



- 7** Orbitのスパウトエクステンダーを取り外し、Lunarに計量カップを置いてください。



- 8** グラインドを開始するには、Orbitボタンをクリックします。Orbitは目標重量に達するまで挽き続けます。



- 9** 目標重量に達するとOrbitは自動で停止します。

注：計り挽きモードではグラインダーがシュートにコーヒー豆がないことを感知すると、60秒後に自動的に停止します。



- 10** グラインド停止後、Orbitボタンをクリックして必要に応じて微調整することができます。



- 11** 計量カップを取り外すか、Tボタンをダブルタップして現在の重量によるグラインドをリセットします。

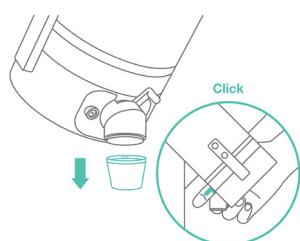


# 製品のお手入れ情報

## お手入れと清掃

Orbitを液体に浸さないでください。製品を清掃するには、柔らかい布にぬるま湯を使用してください。洗剤などをご使用になると、製品を損傷させる可能性があります。

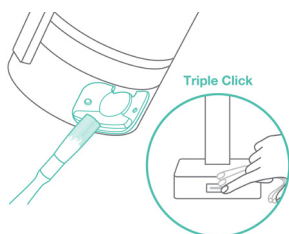
粉残りを減らすために、以下の手順で定期的にスパウトを清掃することをお勧めします：



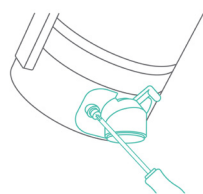
1. スパウトエクステンダーを取り外し、ノッカーを複数回使用します。



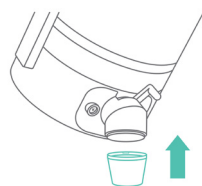
2. プラスドライバーを使用して、スパウト上の2つのネジを取り外します。



3. スパウトを取り外します。ブラシでスパウトを清掃し、Orbitボタンをトリプルクリックしてパーズします。



4. 本体にスパウトを再度取り付け、取り外した2つのネジで固定します。




5. スパウトエクステンダーを取り付けます。

適切な知識や技術がない場合は、刃のクリーニングは行わないでください。分解された後、グラインダーの再調整や再組み立てはAcaiaで責任は負いかねます。

# 付録

---

## トラブルシューティング

Orbitボタンが赤く点灯し 、モーターに問題が発生した場合、グラインダーが停止します。以下は基本的なトラブルシューティングのためのいくつかの手順です：

1. メイン電源を切り、ダイヤルを粗挽きに調整します。グラインダーを再起動してみてください。
2. ステップ1で問題が解決しない場合、acaiaの清掃手順(24ページ)に従ってOrbitを清掃してください。グラインダーを再起動する前にチャンバーに異物がないことを確認してください。
3. 赤いライトがまだ点灯し続ける場合は、当社のカスタマーサポートにお問い合わせください。

## よくある質問

### Q1: 刃の「シーズニング」とは何ですか、なぜ重要なのですか？

A: 刃のシーズニングは、刃がコーヒー豆を挽く過程で時間の経過とともに発生するプロセスです。シーズニング後、挽いた粒度がより均一なものになり、より良い抽出結果が得られます。刃のシーズニングにかかる時間は、使用法や使用する豆の種類など、さまざまな要因によって異なることがあります。

### Q2: ダイヤルのタッチポイントを0に調整できますか？

A: いいえ。ダイヤルのタッチポイントを0に合わせることはできません。各グラインダーは特定の刃のセットに合わせて構築されています。(マーキングリングを、ゼロポイントまたはタッチポイントのメーカーとして使用いただけます。)

### Q3: ドージングカップの磁石はスケールの読み取りに影響しますか？

A: ドージングカップの磁石は読み取りに影響を与える可能性がありますが、これは風袋引きを実行した後の計量には影響を与えませんので、正確で安定した結果が得られます。

### Q4: グラインダーから擦る音がする原因は何ですか？

A: 擦る音は、刃の間に挟まった粒子や、刃が非常に細かい設定により互いに接触している可能性があります。

### Q5: 刃の「タッチポイント」以外で「チャージング音」がする原因は何ですか？

A: チャージング音は、挽き残りによるものかもしれません。グラインダーを動かしてダイヤルをマークされたタッチポイントからわずかに超えた後、粗挽き設定に戻すことを試してみてください。

### Q6: Orbitが起動する際に遅延があるのは正常ですか？

A: はい、Orbitは長時間待機した後、起動に約1~2秒かかります。


### Q7: 挽き目調整ダイヤルからコーヒー粉が漏れてくる場合はどうすればよいですか？

A: 長期間の使用で、まれに少量のコーヒー粉が漏れてくることはありますが、これは避けられません。これが発生した場合、フロントキャップを開けてダイヤルリングを清掃することで、問題は解決されません。

### Q8: 粉残りはどのようになっていますか？



A: Orbitは、通常、粉残り量を0.1グラム未満とするグラインダーとして設計されています。

## デフォルトにリセット

Orbitを工場出荷時のデフォルトにリセットするには、スタンバイモードで前面のOrbitボタンを押し続けます。約10秒間押し続け、ボタンが緑に点灯  したらOrbitボタンから指を離します。これでOrbitは工場出荷時のデフォルトにリセットされます。

また、Orbitアプリを使用してOrbitを工場出荷時のデフォルトにリセットすることもできます。

## Orbitファームウェアアップデートモードへの入り方

Orbitをファームウェアアップデートモードにするには、スタンバイモードで前面のOrbitボタンを押し続けます。約15秒間ホールドし、ボタンが緑  から赤  に変わったらOrbitボタンから指を離します。これでOrbitはファームウェアアップデートモードに入ります。

# 仕様

モデル	AOT007 Acaia Orbit Coffee Grinder - White (Mazzer 0033M) AOT008 Acaia Orbit Coffee Grinder - White (SSP Multi-Purpose) AOT009 Acaia Orbit Coffee Grinder - Black (Mazzer 0033M) AOT010 Acaia Orbit Coffee Grinder - Black (SSP Multi-Purpose) AOT011 Acaia Orbit Coffee Grinder - Space Gray (Mazzer 0033M) AOT012 Acaia Orbit Coffee Grinder - Space Gray (SSP Multi-Purpose)
製品重量	6130 g ± 10 g
製品寸法	幅 : 108 mm 長さ : 266 mm 高さ : 394 mm
定格電圧	100V-240V
周波数	50/60Hz
モーター	200W ブラシレス DC モーター
素材	アルミニウム、ポリカーボネート、ステンレス鋼
動作環境温度	0 - 40°C
RPM プロファイル	600-1500 調整可能な RPM プロファイル
推奨デューティ比	稼働時間 60 秒と待機時間 30 秒
接続性	Bluetooth 5.0
保証	1 年間
パッケージ内	Acaia Orbit コーヒーグラインダー x 1 電源ケーブル x 1 58 mm ポルタフィルター計量カップ (M) と磁気パッド x 1 Lunar マグネットストリップ ガイド x 1 アクセサリツールキット x 1

#### 無断複製禁止

このユーザーマニュアルは著作権によって保護されています。全著作権は法律により保護されています。Acaia社の書面による同意なしに写真複製、マイクロフィルム、再印刷、その他のいかなる方法(特に電子的な手段)による、いかなる形式での複製、処理、または出版を行ってはなりません。